

平成29年度 第1回 学長選考会議議事要録

日 時：平成29年4月25日（月）15：30～16：30
場 所：事務局第1会議室
出席者：柳生委員（議長）、小田部委員、種田委員、福地委員、山口委員
佐川委員（人文社会科学部長）、折山委員（理学部長）、
生越委員（教育学部長）、馬場委員（工学部長）、久留主委員（農学部長）、
木村委員（全学教育機構長）
欠席者：三浦委員

議 題

審議事項

- 1 茨城大学学長選考における意向聴取について
- 2 平成29年度学長選考会議の日程について
- 3 その他

議 事 概 要

I 議事要録の確認

議長から、平成28年度第4回学長選考会議議事要録については、既に大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

II 審議事項

1 茨城大学学長選考における意向聴取について

議長から、平成28年第4回学長選考会議において意向聴取の実施策に対する意見をとりまとめた資料1について審議願いたい旨の提案があり、審議の結果、次回学長選考会議において資料1を基に今回の議論を踏まえた意向聴取に関する要領案について審議することが承認された。

【主な意見】

- 意向聴取対象者について、高いハードルをクリアして採用された教員とハードルなく採用されている職員や附属学校園教員とを同じ対象者とするのは、議論が必要ではないか。
- 附属学校園教員の多数が県などとの人事交流で、任期が終わると県などに戻る附属学校園教員と大学教員とを同じ対象者とするのはどうか、との意見が学部内であり、学長選考会議で議論していただきたい旨を要望されている。
- 理学部や工学部では、附属学校園の票があることにより得票結果が教育学部に偏在することを懸念しているのか。
- 原案でも本学としての合理的な理由はあると考えられるので、原案に賛成する。
- 意向聴取の結果は学外委員にとって学内の意向を図る上で重要な情報となる。対象者を変更するのであれば、相当の理由が必要になるが、これまでの議論ではその理由にはならない。

- 対象としない者の線引きが難しい。常勤の全ての教職員が対象となっているので問題ないのではないか。
- 意向聴取の結果は、あくまでも学長選考会議が判断するための材料の一つである。
- 全学教育機構の区分を新たに追加していただきたい。
- 意向聴取結果の学部報告の中には教員の票と職員の票が一緒になるので、職員は事務局にするべきではないか。

2 平成 29 年度学長選考会議の日程について

議長から、今年度の学長選考や学長業績評価の具体的スケジュールについて審議願いたい旨の提案があった。さらに、総務課長から、資料 2 に基づき説明があり、各委員の都合や意見は 5 月 26 日（金）までに連絡することとされた。

【主な意見】

- 学長候補適任者面接の際には、学長選考会議としての総意をまとめるまでの必要はないが、委員個人の評価シートを作成するなど何らかの評価が必要ではないか。

3 その他

今回は 6 月 19 日（月）13：30 から開催する。